



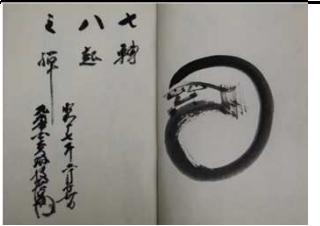
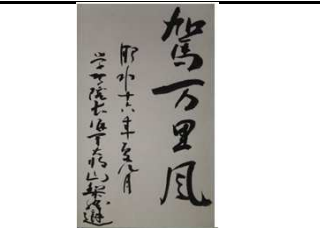
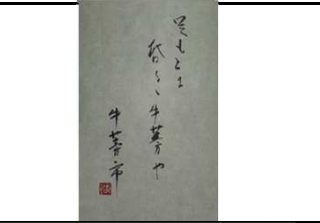
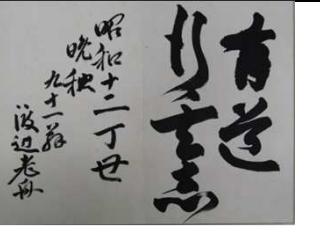
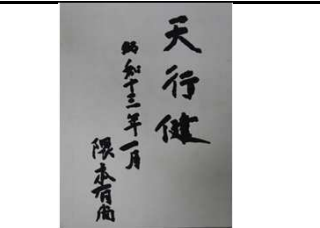
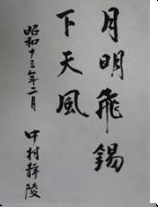

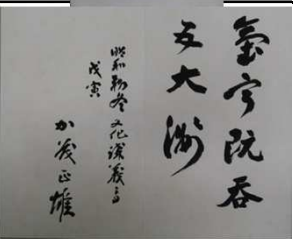


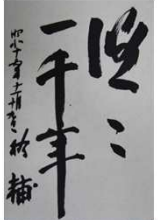

展示番号	写 真	揮毫(読み方不明の字は□で表記)	筆 者	執 筆 年 月
K- 1		<p>是聖尊之言也 孔聖有言 自省不疚 何憂何懼 大正十三年 一月為 商船学校 犬養毅</p> <p>無所畏</p>	<p>犬養 毅 (政治家、第29代内閣総理大臣)</p>	<p>大正13(1924)年1月</p>
K- 2		<p>一心不息從始至 終無有懈怠名 為精進 犬養毅書贈 商船学校 大正甲子歲首</p>	<p>犬養 毅 (政治家、第29代内閣総理大臣)</p>	<p>大正13(1924)年1月</p>
K- 3		<p>無所其 逸</p> <p>鹽谷温</p>	<p>鹽谷温 (漢学者、東京帝国大学名誉教授)</p>	<p>昭和8(1933)年</p>
K- 4		<p>静心 養正</p> <p>清種 花押</p>	<p>安保 清種 (日本海海戦時の戦艦「三笠」砲術 長、海軍大将、海軍大臣)</p>	<p>昭和10(1935)年</p>
K- 5		<p>学問事 業不殊 其効</p> <p>昭和十年夏日 德川囿順書</p>	<p>德川 囿順 (水戸德川家第十三代当主、 政治家、陸軍軍人)</p>	<p>昭和10(1935)年</p>

展示番号	写 真	揮毫(読み方不明の字は口で表記)	筆 者	執 筆 年 月
K-6		<p>白鳥庫吉 武以拓 文以治</p>	<p>白鳥 庫吉 (東洋史学者、文学博士、東京帝国大学教授)</p>	不明
K-7		<p>印 (忠太 紅雲)</p>	<p>伊東 忠太 (明治—昭和の建築家・建築史家。作品に築地本願寺、湯島聖堂等あり)</p>	昭和12(1937)年
K-8		<p>海軍中将 竹内重利 奮進 勇猛</p>	<p>竹内 重利 (日本海海戦時の第二艦隊参謀、海軍中将)</p>	昭和12(1937)年
K-9		<p>印 (梅園 高橋)</p> <p>人に近きは 神に近きは あさほらけ ふし見る ときのことろ なりけり</p>	<p>高橋 龍雄 (国語学者、慶応大学教授)</p>	昭和12(1937)年
K-10		<p>八葉峰中 雪頂花押 無筆而画者 形影也無脚 而馳者感應 也</p>	<p>高楠 順次郎 (明治—昭和の仏教学者。文学博士)</p>	昭和12(1937)年

展示番号	写 真	揮毫(読み方不明の字は□で表記)	筆 者	執筆年月
K-11		<p>七轉八起 之□</p> <p>昭和十七年 六月二十七日</p> <p>九州帝國大學 教授長 沼賢海</p>	<p>長沼 賢海 (国史学者、九州帝国大学教授)</p>	<p>昭和17(1942)年6月</p>
K-12		<p>駕万里風</p> <p>昭和十六年 夏八月</p> <p>学習院長 海軍大将 山梨勝之進</p>	<p>山梨 勝之進 (海軍大将、学習院長、昭和天皇の「人間宣言」の文案作成)</p>	<p>昭和16(1941)年8月</p>
K-13		<p>足もとに 昏る、牛蒡や</p> <p>印(波)</p>	<p>石田 波郷 (俳人、中村草田男、加藤楸邨とともに人間探求派といわれた。)</p>	<p>昭和41(1966)年</p>
K-14		<p>有道 行其志</p> <p>昭和十二年 丑 晚秋</p> <p>渡辺老翁</p>	<p>渡邊 清次郎 (日本最古参の船長の一人、幕府軍艦開陽丸、明治丸等に乘船)</p>	<p>昭和12(1937)年11月</p>
K-15		<p>天行健</p> <p>昭和十三年 一月</p> <p>隈本有尚</p>	<p>隈本 有尚 (教育者・天文学者・数学者。夏目漱石の「坊ちゃん」の山嵐のモデルと推定される)</p>	<p>昭和13(1938)年1月</p>

展示番号	写 真	揮毫(読み方不明の字は口で表記)	筆 者	執筆年月
K-16		月明飛錫 下天風 昭和十三年 二月 中村静陵	中村 孝也 (歴史学者、東京帝国大学名誉教授)	昭和13(1938)年2月
K-17		和心協力 昭和十三年 五月 大蔵公望	大蔵 公望 (大正—昭和時代の官僚・政治家)	昭和13(1938)年2月
K-18		四海同仁 昭和十三年 六月 永井松三	永井 松三 (外交官、外務次官。 永井荷風、高見順は共に従弟)	昭和13(1938)年6月
K-19		氣宇既吞 五大海 昭和初冬 文 化講義二而 戌寅 加茂正雄	加茂 正雄 (工学博士、東京帝国大学教授、 練習船大成丸の機関設計を担当)	昭和13(1938)年
K-20		八紘一宇 大川内傳七	大川内 傳七 (海軍中将)	昭和14(1939)年5月

展示番号	写 真	揮毫(読み方不明の字は口で表記)	筆 者	執筆年月
K-21		大道無奇 茂書	吉田 茂 (米内内閣の厚生大臣、小磯内閣の軍需大臣、第45、48—51代内閣総理大臣吉田茂とは別人)	昭和14(1939)年6月
K-22		昭和十四年十二月六日 柳田國男	柳田 國男 (民俗学者、文化勲章受章者)	昭和14(1939)年12月
K-23		拾五年一月二十六日 木村増太郎	木村 増太郎 (商業会議所理事長)	昭和15(1940)年1月
K-24		信為萬事 宮本武之輔	宮本 武之輔 (工学博士、信濃川大河津自在堰復旧責任者)	昭和15(1940)年5月
K-25		昭和十五年 第三十五回 海軍記念日 海軍中佐 山口捨次	山口 捨次 (海軍中佐)	昭和15(1940)年5月

展示番号	写 真	揮毫(読み方不明の字は□で表記)	筆 者	執 筆 年 月
K-26		<p>昭和十五年十一月十九日 祐輔 □々 一十年</p>	<p>鶴見 祐輔 (政治家・著述業、社会学者の鶴見和子、哲学者の鶴見俊輔の父)</p>	昭和15(1940)年11月
K-27		<p>参学第四回 通列術四 過途學回 記次術太 念赤會平 道議洋</p>	<p>鯨井恒太郎 (東京帝国大学教授) 畑井新喜司 (東北帝国大学教授) 藤岡光長 (東京帝国大学教授) 等会議出席者10名</p>	昭和4(1929)年5月